

## 防爆に関する取扱説明書

### EB3N形セーフティリレーバリア

EB3N形セーフティリレーバリア(接点信号変換器:リレーバリア)は、取扱説明書No.B-1209および、下記の適用要件や全ての図や記述に従うことで、本質安全防爆性能を確保できます。

なお、スイッチについては、取扱説明書No.B-670をご参照ください。

#### ●適用要件

- 日本: 労働安全衛生規則
- 工場電気設備防爆指針(ガス蒸気防爆2006)
- NIIS-TR-NO.39, NO.40
- ユーザのための工場電気設備ガイド(ガス防爆1994)
- RIIS-TR-94-2

#### ●検定に合格した接点信号変換器の形番

リレーバリア : EB3N-abc

“EB3N”= シリーズ形番

a = 安全回路; A2: 自動2チャンネル、M2: 手動2チャンネル

b = 補助回路; N: 無、R05: リレー出力 5チャンネル

c = 電源入力; D: DC

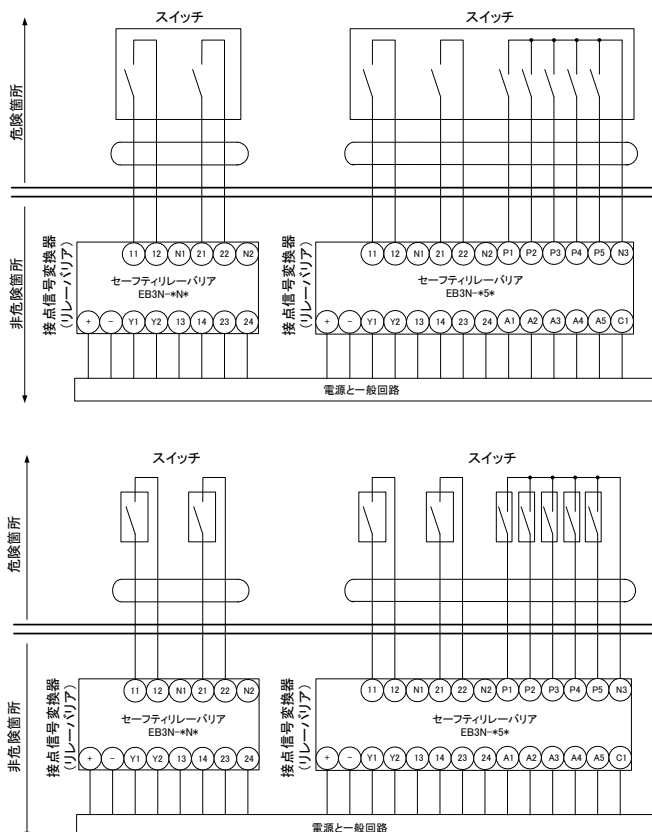
**警告** 部品の交換または未承認の修理は、機器の本安性を損なうおそれがあります。

#### 【使用上のご注意】

- 接点部は危険箇所に設置し、リレーバリアは安全箇所(非危険箇所)に設置してください。
- 本質安全防爆の検定上の単位であるリレーバリアの「1つの本安回路」(接続例に示す 枠内)と、「1つのスイッチ」(接続例に示す 枠内)とを接続してください。
- 周囲温度は、-20℃~+60℃で使用してください。
- 配線は独立した本安回路とし、相互に短絡しないように配線し

#### 【チャンネル配線】

##### ●接続例



#### ●サービ - 交換と修理 -

リレーバリアやスイッチの検査、交換は、電源を遮断するまで行わないでください。そして、全ての交換されるリレーバリア等が適切に再取り付けられるまで再度電源を投入しないでください。不具合のあるリレーバリア等の修理が必要なときは、必ず当社までご返却ください。

#### ●取付

未使用の配線用端子ねじを含む全てのボルト、ナット、ねじおよびその他の手段による固定の際は、適切に堅くしっかりと締めてください。筐体の取付は、35mm幅のDINレールにて、あるいは、ねじによる直取付にておこなってください。

#### ●据付

リレーバリアは、本安上の定格とパラメータ及び記述に従って、据付けてください。電氣的衝撃を防ぎ、工具でしか開けられない筐体に収納してください。

特に、配置と配線は本安回路に電磁的及び静電的誘導を防止するように行ってください。例えば、50mm開けて、又は隙間のない高さの金属隔離板によって、本安回路と非本安回路を分離してください。本安の部品と端子台にカラーコードを用いる場合には明青色の標記を持ったケーブルや端子台を使用してください。

てください。

- 一般回路は、その入力電源、機器内部の電圧等が正常状態、及び、異常状態においても、AC250V 50/60Hz、DC250Vを超えないものを使用してください。
- 端子接続IP20を確保できるように接続してください。裸圧着端子は絶縁被覆なしで使用しないでください。

#### ●本安上の定格とパラメータ

$T_a = 60^{\circ}\text{C}$ ,	$U_m = 250\text{V}$
(配線)	
$U_i \geq U_o$	= 13.2 V
$I_i \geq I_o$	= 227.2 mA
$P_i \geq P_o$	= 750 mW
$C_i + C_w \leq C_o$	= 280 nF
$L_i + L_w \leq L_o$	= 0.56 mH

$C_w$ : 配線キャパシタンス

$L_w$ : 配線インダクタンス